

各位

科学へジャンプ基金へのご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「科学へジャンプ」は、平成 20 年から始まった事業で、視覚障害のある生徒達に科学の面白さを知る体験・実習や、IT 活用による新しい可能性の広がりを感じ取る機会を提供することを目的として、

合宿型の全国版「科学へジャンプ・サマーキャンプ」

各地域での「科学へジャンプ・地域ミニ版」

最新の支援技術を含む IT リテラシー研修

等を開催しています。

目が見えなくても適切な工夫することによって、化学も含めたさまざまな理科実験や生物観察などを行うことができることを生徒も指導者も知ることが出来ます。また、コンピュータを活用することによって晴眼者と共に学び・働くことができることを生徒も保護者も知る機会となり、将来に希望をもつことが出来ます。

日本では視覚障害のある生徒の数はかつてより少なくなっています。これは医学の進歩による大きな福音です。しかし、他方で視覚障害のある生徒たちの孤立化の問題が残りました。現在、日本の視覚特別支援学校や盲学校では生徒たちは共に学ぶ同学年の級友がいない場合が多く、また普通校で学ぶ生徒は学習面で級友と知識を分かち合うことの困難に直面しています。

科学へジャンプの事業により、障害のある生徒同士や先輩たちとの学校の枠を超えた交流が生まれ、また、指導・支援をする人の繋がりが作られ、情報やノウハウを共有できる全国規模のネットワークが形成されます。視覚障害のある生徒たちの将来の社会進出に向けた力が生徒たちと支援者の両方に蓄積されます。

この科学へジャンプの事業は関係者の努力と理解によっていくつかの一時的な助成金や企業の寄付金などを得ることによってスタートしました。科学へジャンプ基金は、より多くの人々の大小様々な支援の輪によって、

この事業が継続できるように！

生徒たち、保護者、教師、支援者たちの切なる願いを込めて設立したものです。

視覚障害のある生徒たちの支援に是非、ご協力をお願いします。

敬具

(科学へジャンプ事業の詳細内容はホームページ <http://www.jump2science.org/> をご覧ください。)

平成 22 年 6 月

視覚障害のある生徒たちのための
「科学へジャンプ」全国ネットワーク
代 表 鈴木 昌和
副代表 鳥山 由子